

令和5年度事業報告概要

令和2年から猛威をふるった「新型コロナウイルス感染症」は、令和5年5月8日から「5類感染症」に移行しました。

社会経済活動は再開されて、少しずつコロナ前の日常に戻りつつあります。

一方で、「新型コロナウイルス感染症」は私たちの生活に、影響を及ぼし続け、社会を取り巻く環境が大きく変化し、多くの社会活動、交流活動が停止することになりました。また、人と人とのつながりの希薄化、生活の困窮をはじめとした、これまで見えづらかったさまざまな課題が顕在化することとなり、これまで本会が推進してきた地域福祉推進事業の取組みに大きく影響をもたらしています。

コロナ特例貸付の償還が令和5年1月から始まりました。新たな生活困窮に陥らないよう、借受人へのフォローアップ支援を行い、償還に関する柔軟な対応や付随する生活相談について、市民に寄り添いきめ細かくサポートを実施いたしました。

羽曳野市とともに、一体的に推進している令和3年度を初年度とする「第4期羽曳野市地域福祉計画」と「第4期羽曳野市地域福祉活動計画」は、中間評価を踏まえて、それぞれの役割を持ち、積極的に協力しながら地域福祉ネットワークの充実をさらに進めました。

地域福祉活動では、新型コロナウイルス感染症予防を徹底的に行ない、「子育てサロン」や「世代間交流」及び「サロン活動」などを、校区福祉委員会、民生委員児童委員協議会、各種団体及び行政のご協力を得て開催し、皆様に大変喜んでいただきました。

個別支援活動では、コミュニティソーシャルワーカー（CSW）の行う総合福祉相談や生活困窮者自立支援相談をはじめ、保育園で行っているスマイルサポーター事業により、相談者が抱える個別の課題解決に向けて支援しました。

在宅福祉活動では、利用者の方々に安心し利用していただけるように徹底した感染予防対策を行い、訪問介護事業、居宅介護支援事業において「そこに大切なあなたがいる」の理念のもと、利用者やご家族に寄り添った介護事業を行いました。

各種募金活動等の推進では、日本赤十字社の活動資金、共同募金、歳末たすけあい運動募金、献血推進事業そして、令和6年1月に発生した能登半島地震の災害時義援金活動や海外救援金活動に取り組み、多くの皆さまからご支援をいただく事が出来ました。

「あおぞら保育園」・「ベビーハウス社協」の2カ所の認可保育園では、安全で安心な保育園として運営し、また、地域の子育て支援の拠点として、育児相談、園庭開放、緊急一時保育（ベビーハウス社協のみ。）などを実施し、地域の皆様から信頼され、親しまれる保育園運営を行い、財政運営にあたっては経費削減に努めて健全化を図りました。

当会が実施する自主事業の貴重な活動財源となる「寄付金」や「地域福祉活動協力金」「組織構成会員会費」は、多くの皆様からのあたたかいご理解とご協力をいただきました。令和5年度は、正規職員を雇用して組織体制の強化を行い、前年度に引き続き安定的な組織運営と基盤の強化を図る事が出来ました。

以上のとおり各種受託事業をはじめ、自主事業においても、健全な運営を行う事が出来ました。

次に、事業ごとの取り組み内容は別紙のとおりです。

令和5年度事業報告

■ 役員会議

・理事会

開催年月日	開催場所	審議事項	出席者数
令和5年5月30日	羽曳野市役所 別館2階研修室	定款の一部変更(案)について 令和4年度事業報告について 令和4年度収支決算について 理事・監事候補者の選任(案)について	13人
令和5年6月16日	羽曳野市役所 別館2階研修室	会長・副会長の選任について 顧問の委嘱について	15人
令和6年2月22日	保健センター 4階大会議室	令和6年度事業計画及び予算(案)について 定款の一部変更(案)について 理事の選任(案)について 役員等賠償責任保険契約の内容(案)について	14人

・評議員会

開催年月日	開催場所	審議事項	出席者数
令和5年6月16日	羽曳野市役所 別館2階研修室	定款の一部変更(案)について 令和4年度事業報告について 令和4年度収支決算について 理事・監事候補者の選任(案)について	18人
令和6年3月6日	羽曳野市役所 別館2階研修室	令和6年度事業計画及び予算(案)について 定款の一部変更(案)について 理事の選任(案)について	19人

・監事監査

開催年月日	開催場所	審議事項	出席者数
令和5年5月18日	あおぞら保育園	令和4年度監査	2人

・正副会長会

開催年月日	開催場所	審議事項	出席者数
令和5年8月30日	羽曳野市役所 4階北会議室	令和5年度事業進捗について	3人

■ 組織強化

自主財源となる福祉基金の積み上げと地域福祉活動協力金の拡大を図りました。

・寄付金（令和6年3月31日現在）

令和5年度 1,364,628円

・地域福祉活動協力金

地域福祉活動やボランティア活動の推進など市民参加・参画の中で福祉サービスを充実させるためにご協力をお願いしました。

ご協力いただいた額の半額は、各校区福祉委員会の活動資金として配分させていただきました。

3,890,675円

・組織構成会費

より広く住民に開かれた組織としての基盤を整えるために市内の団体などを対象にご協力をお願いしました。

262,000円

■ 社会福祉啓発活動

・機関紙の発行等

名 称	発行回数	発 行 月 等	備 考
社協だより	年4回発行	5月・8月・10月・1月	市内全戸配布
はびきのボランティアだより	年3回発行	9月・12月・3月	ボランティア登録者・登録グループ、公共施設、市内教育機関、市内福祉施設配布
市広報はびきの	年12回発行	毎月	市内全戸配布
ホームページ	——	随時更新	http://www.hasyakyo.net/
介護保険事業連だより	年6回発行	不定期	加盟事業所配布 ・ケアマネ部会 ・在宅部会 ・施設部会 ・地域密着部会

■ 地域福祉活動

・校区福祉委員会連絡会事業

校区福祉委員会の役員に、小地域ネットワーク活動についての研修会を実施、校区福祉委員の指導・育成に努めました。

開催日	内 容	場 所
令和5年7月14日（金）	校区福祉委員会連絡会 「私の校区の“推し”活動」	市役所別館3階会議室

・校区担当による福祉委員会支援

各小学校区に校区担当職員を配置し、福祉委員会の実施事業や会議等へ参加しました。

地域の課題やニーズに応じた、事務的支援や相談を随時行い、福祉委員会活動における地域福祉推進に繋げました。

・地域と福祉サービスをつなぐネットワーク会議（福祉施設連絡会）

総会	令和5年5月11日 羽曳野市総合福祉センター 2階研修室 令和4年度事業報告・収支決算及び令和5年度事業計画・収支決算について提案 研修会 テーマ「地域貢献について」 講師 大阪府社会福祉協議会施設福祉部 社会貢献推進室
研修会	令和5年10月27日 羽曳野市役所 本館4階北会議室 テーマ「BCP(事業継続計画)の今、気になるところ」 講師 羽曳野市保健福祉部指導監査課
役員会	令和5年7月20日・11月16日 令和6年1月18日・3月21日
法人案内ホームページでの活用	ホームページを活用した法人紹介
行政との連携及び要望	羽曳野市福祉指導監査課 研修を通じて情報提供(10月27日) 羽曳野市保健福祉政策課 重層的支援体制整備事業について説明(1月18日 役員会・2月29日 担当者交流会)
担当者交流会	令和6年2月29日 LICはびきの 3階視聴覚室 講演「地域貢献制度について」 講師 大阪府社会福祉協議会施設福祉部支援員 事例発表 社会福祉法人 高屋福社会高屋保育学園 社会福祉法人 和悦会 羽曳野特別養護老人ホーム
その他	第1回羽曳野市地域福祉専門職ネットワーク交流会の参加案内 令和5年8月21日「支援に難しさを感じている事例」や「連携」についてグループワーク 第2回羽曳野市地域福祉専門職ネットワーク交流会の参加案内 令和6年3月12日 第1部 講演(新崎国広氏) 第2部 事業所(+個人)PR

その他

専門職ネットワークオンライン交流会や、他市との施設連絡会交流会・事例検討会に参加

・地域交流事業

校区福祉委員会が、地域特性を活かしたふれあいの事業を実施することにより、地域内の交流を深めることができ、地域福祉の増進に寄与しました。

令和5年度は新型コロナウイルス感染症が5類に移行したため、前年度よりも地域活動が活発になってきています。

校区名	各事業の実施箇所数 (単位：箇所)						小地域ネットワーク ※3	雅び ※4
	いきいきサロン (喫茶サロン含む)	ふれあい食事サービス	地域ハビリ事業 (百歳体操含む)	世代間交流	子育て支援 こどもの居場所 (サロン) 活動 ※1	その他 ※2		
1 古市	7	5	5	6	4	16	H11	H15
2 高鷲北	3	5	0	2	1	0	H11	H14
3 埴生	6	9	8	3	3	9	H13	H16
4 埴生南	12	8	8	0	1	1	H12	H16
5 羽曳が丘	1	0	1	2	1	2	H10	H14
6 丹比	1	0	0	6	1	1	H11	H16
7 駒ヶ谷	8	1	6	1	1	4	H14	H17
8 古市南	4	1	2	1	1	1	H14	H15
9 西浦	8	0	4	1	1	3	H13	H18
10 西浦東	0	2	0	1	1	3	H12	H24
11 恵我之荘	3	2	0	3	1	0	H12	H14
12 白鳥	2	2	5	2	1	0	H12	H15
13 高鷲	1	11	2	1	1	0	H10	H14
14 高鷲南	1	1	5	0	1	0	H10	H14
合計	57	47	46	29	19	40	23	8

※1 古市校区の子育て支援（サロン）活動については民協が実施

※2 その他

各分類以外のもの、清掃活動や夜警、緑化活動などが入ります。

※3 小地域ネットワーク事業

小学校区を単位として高齢者や障がい者（児）、子育て中の親子などが地域で孤立することなく安心して生活できるよう、地域住民の参加と協力による支え合い、助け合いを推進する活動（設置年度）

※4 ふれあいネット雅び

小地域ネットワーク活動と専門職種・行政が協働し、高齢者等を地域で支えあい関係機関とのネットワークを構築し小地域ネットワーク活動の一層の発展、地域支援体制の拡充、セーフティネットの確立を目指す活動（設置年度）

・福祉教育の推進

小・中学校及び高等学校の児童・生徒を対象に、ボランティア活動の実践を通じて社会福祉への理解と関心を高めることを目標とし、社会奉仕・社会連帯の精神を養うとともに、家庭及び地域社会の社会福祉活動に対する啓発を図っています。

日付	学校名・学年	派遣団体	内容
令和5年11月29日	はびきの埴生学園3年生	点訳サークルひまわり	点字を活用した名刺づくり
令和6年3月11日	羽曳が丘小学校	介護保険事業者 連絡協議会	はじめての車いす体験

・コミュニティソーシャルワーカー（CSW）事業

地域にお住まいの個人、家族から相談を受ける個別支援活動と、集団、組織を支援する地域支援活動という2本を柱に活動しています。個別支援活動から見えてきた課題を地域支援活動に活かし、また地域支援活動が個別支援活動に活かされるような循環システムを目指し取り組んでいます。

令和3年度からは、中・西・東の3エリアCSWの統括として4人目のCSWを配置し、CSWのスーパーバイザーとしての役割を担っています。

統括相談対応件数 : 108件

◎CSW介入の必要性

- ・制度の利用は可能であるが、本人が支援を拒否される場合、ゆるやかな見守り体制を構築していく必要のある事例。
- ・家族の中で複合的な課題を抱えている場合、障害・高齢・児童それぞれの制度につないでいく必要のある事例。
- ・民生児童委員が地域で発見し把握された相談の中で、専門職支援が必要のある事例。
- ・なんらかの理由で家から外出することができなくなった「ひきこもり」と呼ばれる方々が、社会参加するための支援。

◎CSW介入の成果

- ・複合的な生活課題を抱えられている方からの相談をワンストップで受け、関係機関につなげ、スムーズな支援につなげることができる。

◎最近多くなっている相談

- ・「家族の問題」としてずっと潜在化しており、問題が顕在化した時には、生活が立ち行かなくなってしまう事例（50代ひきこもりの子・80代高齢親）
- ・養育困難、ゴミ屋敷等、犬・猫・イタチ等の小動物の問題
- ・子育て不安、介護負担など「ちょっとした相談」をする人がいなくて、抱え込んでいる事例
- ・地域の100歳体操やカフェなどの行き場所がないという高齢者からの相談、ご近所トラブルなど

① 地域支援活動

(単位:回)

	東部CSW	西部CSW	統括CSW	合計
<u>第4期羽曳野市地域福祉計画の推進、第4期地域福祉活動計画の策定 他機関との協働</u> 第4期地域福祉計画推進委員会、ふれあいネット雅び運営会議、羽曳野市地域福祉ネットワーク交流会、教育福祉連絡会、羽曳野市地域自立支援推進会議、要保護児童対策協議会、市CSW連絡会、福祉施設連絡会、中河内・南河内CSWブロック会議、重層的支援体制整備事業関係会議、エリア・ブランチ会議、大阪しあわせネットワーク・スマイルサポーター連絡会・ひきこもり支援連絡会・校長会・街歩きイベント・就労準備事業・茨木市ひきこもり居場所づくり・サポステ・南河内プラッツ・生活困窮地域ネットワーク会議・地域福祉コーディネータースキルアップ研修・SSW連絡会・キャラバンメイト等各連絡会・勉強会	74	65	88	227
<u>住民懇談会の開催</u> 校区懇談会・子育てサロン、会食会、ふれあいネット雅び地域福祉推進チーム会議・小地域ネットワーク会議・校区福祉委員会連絡会	31	55	23	109
<u>要援護者の組織化支援</u> 介護者家族の会・高次脳機能障がい当事者の会、家族の会の取組み支援社協WEST（就労準備・ひきこもり支援）	8	14	2	24
<u>地域住民などを対象とする研修会の開催</u> ふれあいネット雅び地域福祉推進チーム勉強会 認知症サポーター養成講座等	1	5	1	7
<u>災害時要援護者支援ネットワーク構築事業</u> 羽曳野市災害時要援護者支援プラン説明会の実施 災害時要援護者を支える地域づくり	5	4	1	9
<u>地域拠点へのアウトリーチ（出張相談）</u> ふれあい喫茶「あいあい」、巡回型ふれあい喫茶「すずらん」、各ふれあいまつり、コミュニティひろば、西浦ほっとサロン、カフェさんさん、喫茶ひだまり、ふるなん100歳体操、ふるなん輪投げ教室、駒ヶ谷サロン、壺井町会サロン、大黒いきいきサロン、喫茶サロン「いしかわ」等への訪問相談・移動販売車停留所での相談受付・民生委員定例会・校区福祉委員会会議・健康教室	38	35	2	73

② 個別支援活動

(単位:件)

相談内容別	東部CSW	西部CSW	合計
	件数	件数	件数
福祉制度・サービスに関する相談	63	102	165
生活に関する身近な相談	66	104	170
健康・医療に関する相談	65	50	115
生活費に関する相談	22	19	41
就労に関する相談	9	5	14
多重債務に関する相談	0	0	0
消費者被害に関する相談	0	0	0
財産管理・権利擁護に関する相談	1	4	5
住宅に関する相談	12	10	12
子育て世帯に関する相談	4	2	6

DV・虐待に関する相談	7	0	7
地域福祉・ボランティア活動に関する相談	8	7	15
災害時要援護者に関する相談	18	15	33
ひきこもり	12	4	16
フードバンク	0	1	1
その他	0	1	1
合 計	287	327	601

(単位:件)

相談対象者別	東部 CSW	西部 CSW	合 計
	件数	件数	件数
高齢者	64	61	125
障がい者	13	30	43
子育て中の親子	11	8	19
一人親家庭の親子	1	3	4
青少年	0	0	0
DV被害者	4	2	6
生活困窮者	4	10	14
ひきこもり	11	5	16
ボランティア	0	2	2
ヤングケアラー	0	0	0
外国籍	1	1	2
その他(一般)	52	18	70
合 計	161	140	301

※一度に複数の相談事項があるため、合計とは一致しません。

・生活困窮者自立支援事業

だれもが生活困窮に陥るかもしれない恐れがある社会の中、生活困窮のさまざまな原因に対し、専門の支援員が相談に応じ支援計画を策定し、その方にあった自立に向けて支援を行います。

(単位:件)

相談内容別	件数
新規相談受付件数(本人同意なしを含む)	292
新規相談申込件数(本人同意ありのみ)	101
支援決定・作成プラン件数(再プランを含む)	55
病気や健康、障害のこと	76
住まいについて	33
収入・生活費のこと	154
家賃やローンの支払いのこと	47
税金や公共料金の支払いについて	23
債務について	37
仕事探し、就職について	38
仕事上の不安やトラブル	7

地域との関係について	5
家族関係・人間関係	28
子育てのこと	13
介護のこと	13
ひきこもり・不登校	7
DV・虐待	7
食べるものがない	12
その他	27

※一度に複数の相談事項があるため、受付件数等とは一致しません。

住居確保給付金申請内訳

(単位：件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
離職		1	1				1	1			1		5
減収						1							1
合計		1	1			1	1	1			1		6

・福祉サービス利用援助事業（日常生活自立支援事業）

大阪府社会福祉協議会権利擁護推進室からの委託事業で、認知症や知的障がい、精神障がいなどにより毎日の暮らしに必要なことの判断や意思表示を自分自身で適切に行うのが困難な方を対象に、生活支援や金銭管理などをお手伝いする事業です。令和5年度は新型コロナウイルス感染予防対策を講じながら対面のやり取りを続けました。

相談者	一般相談 件数	サービス提供の ための活動件数	新規契約 件数	解約件数	年度末 実利用者数
認知症高齢者	125件	280回	1件	3件	5人
知的障がい者	122件	418回	1件	1件	13人
精神障がい者	735件	1791回	1件	2件	28人
その他	2件	0回	0件	0件	0人
合計	984件	2489回	3件	6件	46人

専門員・生活支援員参加の研修会等

大阪府社会福祉協議会主催の各種会議・研修会に参加

・会食会事業（逢い愛弁当）

小学校区ごとに、校区内のひとり暮らしの高齢者を対象に年3回民生児童委員との共催により会食会を実施。地域との交流を深めるとともに健康増進に寄与しています。

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、業者のお弁当を配布するテイクアウト形式で行いました。

校 区	第1期	第2期	第3期	計
古 市	84	83	92	259
古市南	68	63	63	194
白 鳥	40	46	43	129
高 鷲	49	49	42	140
高鷲北	40	34	33	107
高鷲南	45	47	47	139

恵我之荘	46	45	50	141
埴生	50	0	47	97
埴生南	63	61	59	183
羽曳が丘	147	135	125	407
西浦東	42	38	37	117
丹比	63	62	69	194
駒ヶ谷	53	51	50	154
西浦	48	51	59	158
合計	838	765	816	2419

計41回開催 延べ参加人数2,416人

※駒ヶ谷校区、西浦校区は酒記食

※令和5年9月27日埴生校区は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。

・生活福祉資金貸付事業

低所得世帯の生活の安定ならびに高齢者・身体障がい者の属する世帯の在宅福祉の向上を図るため生活福祉資金貸付事業を実施し、自立更生に寄与しました。

【貸付状況】

区 分	電話相談	窓口相談	貸付決定件数	貸付決定額
福祉資金	52件	66件	28件	7,470千円
教育支援資金	33件	55件	31件	20,468千円
総合支援資金	2件	4件	1件	600千円
不動産担保型生活資金（要保護含む）	0件	0件	0件	0千円
緊急小口資金	21件	35件	14件	1,325千円
臨時特例つなぎ資金	0件	0件	0件	0円

・避難行動要支援者支援ネットワーク構築事業（旧：災害時要援護者支援ネットワーク構築事業）

災害の際に何らかの理由で逃げ遅れる危険性が高い方が、制度へ登録申込みをして、校区福祉委員会や町会・民生委員児童委員など支援してくれる団体にあらかじめ状況を把握しておいてもらうことで、災害時の被害を少しでも少なくしようという制度です。登録者数が増えることで、平常時からの地域の見守り、支えあいの輪がいつそう広がりました。

避難行動要支援者

- ①身体障がい者手帳（1級、2級）の交付を受けている方、視覚障害の方聴覚障害の方
- ②療育手帳（療育A）の交付を受けている方
- ③精神障がい者保健福祉手帳（1級）の交付を受けている方
- ④障がい者手帳をお持ちで一人暮らしの方
- ⑤要介護度3以上の方
- ⑥65歳以上のお一人暮らし、75才以上のみの世帯
- ⑦昼間のみ⑥の状態になる方
- ⑧特定疾患、小児慢性特定疾患医療助成認定を受けている難病患者の方
- ⑨その他災害時の避難に支援が必要な方

校区ごとの対象人数（同意あり）

（単位：人）

古市	高鷲北	埴生	埴生南	羽曳が丘	丹比	駒ヶ谷	古市南
364	167	342	435	384	406	85	439

西浦	西浦東	恵我之荘	白鳥	高鷲	高鷲南	合計
247	123	189	136	319	332	3,968

・子育て支援・サロン活動事業

校区福祉委員会による小地域ネットワーク活動が展開され、民生委員を中心に地域での子育て支援として「子育てサロン」活動が全校区で行われています。

核家族化による孤立予防や、子育ての不安や悩みを一人で抱え込まないよう、子育て世代をサポートすることを目的として各校区福祉委員会や民生委員児童委員協議会で、それぞれ独自のふれあいの場を提供しています。校区ごとの参加人数は下記のとおり。

（単位：人）

たかなん	ふるいち	はになん	はにふ	たかわし	たかきた	えがのしょう	いしかわ
237	235	275	67	112	291	102	80

はくちょう	ふるなん	はびきがおか	にしうら	たんび	こまがたに	合計
148	89	195	186	34	49	2100

■ ボランティア活動の促進

・ボランティア活動の振興

・ボランティアセンターの運営

ボランティアグループの活動活性化を図るため、ボランティアセンターの効率的な管理・運営に努めました。

ボランティアセンター利用日数 292日

・ボランティア保険の加入

安心してボランティア活動ができるようボランティア保険への加入を促進し、ボランティア活動の振興に努めました。

	活動保険	行事保険	非営利・有償	全社協送迎	合計
団体数	108件	206件	3件	2件	319件
人数	1,377人	16,851人	15人	774人	19,017人

・需給調整事業

ボランティア活動に対する需要と供給のバランスを調整し、ボランティア活動の裾野を広げ市民のボランティア活動に対する認識と理解を深めることに努めました。

(単位：件)

個人	団体	福祉施設	行政機関	その他	合計
70	33	12	17	17	149

・ボランティア育成事業内容

地域住民のボランティアに対する意識を高め、地域福祉への参画を促しています。

講座名	日程・場所	内 容
ボランティア体験プログラム	令和5年7月1日～ 9月30日 あおぞら保育園・羽曳野 市役所・生きがいサロン 5号館・グループホーム 「みやび」	大阪府社会福祉協議会との共催事業として毎年開催されているプログラム。子どもから社会人、高齢者などにボランティア活動参加の機会を提供している。特にボランティア活動を体験したいけれど忙しい学生が夏休みの期間を利用してボランティア体験をする機会となっており、ボランティア団体や施設などに受入れを依頼し、実施した。
傾聴ボランティア養成講座	令和5年7月31日 8月1日 市役所A棟西会議室 エコプラザはこふ	施設や在宅の高齢者の方にゆっくり寄り添ってお話を聴き、気持ちを受け止めるボランティアを養成するために開催した。
小学生ボランティアスクール	令和5年8月3日 別館2階研修室	小学生ひとりひとりがボランティア体験を通して人を思いやる気持ちの大切さである「福祉の心」を育て、ボランティア活動のきっかけを提供することを目的に開催した。
朗読ボランティア 河南ブロック代表者会議	令和5年10月10日 河内長野社協	各市町村の交流・情報交換のため毎年開催しており、例年幹事市へ出向いて録音技術や朗読スキルアップ、会員募集、リスナーの拡大などテーマを決めて、現状報告・情報交換などの交流を行った。
ボランティア・市民活動わくわく講座 折り紙ボランティア養成講座	令和5年4月19日 4月25日 エコプラザはこふ 市役所A棟西会議室	自分の特技を活かして福祉ボランティアができることを知ってもらい、ボランティア活動の啓発を目的とする。また、折り紙ボランティアは男女問わず誰でも気軽に参加できる内容になっており、男性ボランティア発掘もねらい企画した。
ボランティア・市民活動わくわく講座 絵手紙ボランティア養成講座	令和5年5月12日 5月15日 5月17日 別館2階研修室 エコプラザはこふ 古市ひまわり園	絵手紙の制作を通じたボランティア活動の啓発を目的とする。また、絵手紙ボランティアは男女問わず誰でも気軽に参加できる内容になっており、男性ボランティア発掘もねらい企画した。
ボランティア・市民活動わくわく講座 ITサポートボランティア養成講座	令和5年9月8日 9月13日 市別館2階研修室 エコプラザはこふ	パソコンが得意な方でパソコンを通して地域とのネットワークを広げるボランティア活動の啓発を目的とする。また、一緒に活動するボランティアを養成するために開催している。

ボランティア・市民活動わくわく講座 音訳ボランティア養成講座	令和5年11月15日 11月22日 11月29日 市役所A棟中東会議室 エコプラザはこふ	読むことに不自由を感じている方に声による情報を届けるボランティア活動の啓発を目的とする。また、一緒に活動するボランティアを養成するために開催している。
災害ボランティア養成講座	令和6年1月27日 別館2階研修室	学識者より災害ボランティアの基本について学ぶ。またボランティア経験者より災害ボランティアの技術を講義いただき、羽曳野市で災害が起きた際に活躍していただける災害ボランティアの育成を目的に企画した。

・ボランティア連絡会の育成・援助

ボランティア連絡会との連携を強化しながら、地域住民、若年層からのボランティアに関する理解と関心を高めるため、組織的なボランティア活動の振興に努めました。

ボランティア連絡会総会	令和5年5月29日／市役所別館2階
定例幹事会	毎月第2水曜日
その他主な活動 大阪府市町村社協ボランティア連絡会総会 大阪府市町村ボランティア連絡会テーマ別研修会 河南ブロック交流会 大阪府市町村ボランティア連絡会代表者会議 大阪府市町村ボランティア研修交流会 市民体育祭 市民会館夏祭りブース出展 小学生ボランティアスクール 会員研修 市民マラソン大会 市民活動フェスタ2023 第1回大阪府市町村ボランティア連絡会役員会 第2回大阪府市町村ボランティア連絡会役員会 第3回大阪府市町村ボランティア連絡会役員会 第5回大阪府市町村ボランティア連絡会役員会	令和5年 5月29日/大阪府社会福祉会館 令和5年12月18日/大阪府社会福祉会館 令和5年10月17日/河内長野市社会福祉協議会 令和6年2月19日/大阪府社会福祉会館 令和6年2月19日/大阪府社会福祉会館 令和5年6月11日/悪天候のため中止 令和5年7月23日/羽曳野市市民会館 令和5年8月3日/羽曳野市役所別館2階 令和5年10月31日/堺市総合防災センター他 令和5年12月10日/石川スポーツ公園 令和6年3月17日/エコプラザはこふ 令和5年5月29日/大阪府社会福祉会館 令和5年7月26日/大阪社会福祉指導センター 令和5年9月5日/大阪社会福祉指導センター 令和6年1月23日/大阪府社会福祉会館

・災害ボランティアセンター事業

地域住民の災害ボランティアに対する意識を高めるために災害ボランティア養成講座や情報交換会を企画し、災害ボランティアへの参画を促しています。

昨年度に引き続き、災害ボランティアセンター設置時に使用する備品を整備しました。

災害ボランティアセンター設置時に協力できる体制作りに向けて、羽曳野防災・災害ボランティアチーム「プランバード」と連携し、講座を実施しました。(会員数 20名)

羽曳野防災・災害ボランティアチーム「ブランバード」勉強会（定例会）	毎月第4金曜日	災害ボランティアセンターが設置される際に社協とともに運営に携わるための知識や技術を得るために設立された「ブランバード」の定例会に参加し、平時から情報交換やブランバードとの共催で災害ボランティアに関する講座を協働で企画・実施した。
3市合同災害ボランティア担当者会議・連絡会議	令和5年 5月26日 7月14日 9月1日 10月4日 12月1日 令和6年 2月2日 3月1日 3月21日	柏原市・羽曳野市・藤井寺市の3社協共同で災害ボランティアセンターについての情報交換を行い、災害ボランティアセンターの運営体験プログラムの企画について話し合った。令和5年度は藤井寺市が幹事市となり議事進行や意見のとりまとめを行った。
3市合同災害ボランティア養成講座	令和5年 10月31日	3市合同災害ボランティア養成講座を実施した。自衛隊の方を講師として招き、緊急事態が起こった場合の救助の仕方やロープの結び方を学ぶ。3市で登録しているボランティアグループに向けて実施した。
3市合同総合防災フェア	実施されず	今年度は実施されていない（藤井寺市主催）が、毎年災害に関するブースを出展し、災害ボランティアに関する情報を発信している。
令和5年度大阪府災害ボランティアセンター運営シミュレーション	令和6年 1月26日	大阪府内のブロックごとに、ZOOMを使用して会場をつなぎ、ICTを使用しての被災状況把握や支援の見積もりの作成や確認を行った。

■ 実習生受入

社会福祉士国家試験受験資格の取得対象等の実習生の受入を行い、様々な社会福祉活動の実習を通じ、社会福祉関係者の人材育成を図りました。

・看護学部生活支援実習

大学名	人数	実習期間	実習時間
大阪公立大学	5人	令和5年5月7日～5月10日のうち2日間	2日
大阪公立大学	5人	令和5年5月13日～5月17日のうち2日間	2日

・社会福祉援助技術実習

大学名	人数	実習期間	実習時間
四天王寺大学	1人	令和5年6月5日～7月7日	25日間
四天王寺大学	2人	令和5年11月11日～11月24日	9日間

・社会福祉相談援助演習特別授業

大学名	人数	内 容	場 所	派遣人数
四天王寺大学	44人	羽曳野市社会福祉協議会の事業と役割	四天王寺大学	2名

■ きらきらシニアプロジェクト介護支援サポーター事業

このプロジェクトは羽曳野市社会福祉協議会が羽曳野市から委託を受けて平成27年7月1日から始まった介護予防事業のひとつです。

市内の介護保険施設などで介護支援サポーター活動（ボランティア）を行うことに対してポイントを付与し、たまったポイントを換金できる「介護支援ボランティアポイント制度」です。高齢者の方が介護支援サポーター活動を通して社会参加、地域貢献をすることで、ご自身がより元気にいきいき生活することを目的としています。

○きらプロ講習会内容

活動に際して講習会を開催

きらきらシニアプロジェクトはじめて講座	令和5年5月18日・7月27日・9月14日・ 10月13日・11月9日・令和6年1月30日
---------------------	--

※サポーター登録申請後、はじめて講座を受講していただくことが活動の前提となります。

○サポーター（ボランティア）登録者数 381人

○市が指定した市内の介護保険施設などにおける介護支援サポーター活動を対象としている。

介護支援サポーター活動の再開を目的にサポーター受入登録施設の受入状況や依頼したい活動内容をまとめた資料を作成。サポーター活動の拡大に向けて周知活動を行った。

○サポーター受入登録施設 68施設

きらきらシニアプロジェクト介護支援サポーター事業にご賛同いただいた高齢者施設を登録している。

新型コロナウイルスの影響でサポーター受入れができない施設が多い。活動先を増やす為、サポーター受入未登録の施設にアプローチして登録施設を増やした。

○スキルアップ講習会

きらきらシニアプロジェクト介護支援サポーターが普段の活動の際に必要なスキルを身につけ、自身の介護予防に役立てながらサポーター活動を充実させることができた。

令和5年11月10日開催 参加者数29人

■ 在宅福祉活動

・居宅介護支援事業

要介護者等からの相談に応じ、居宅サービス又は施設サービスを適切に利用できるよう、サービスの種類、内容等の計画を作成するとともに、サービスの提供が確保されるようサービス事業者、介護保険施設との連絡調整等を行いました。

・新規介護相談件数 ……80件

・要介護認定利用者〔年度末現在の居宅介護支援者数〕 (単位：人)

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
利用者数	33	29	10	10	13	95
内5年度新規	15	10	2	5	0	32

・要支援認定利用者〔年度末現在の居宅介護支援者数〕 (単位：人)

	要支援1	要支援2	事業対象者	計
利用者数	20	20	1	41
内4年度新規	1	2	0	3

・羽曳野市要介護認定訪問調査委託事業

羽曳野市より依頼を受け、要介護認定の訪問調査を行いました。

(調査件数) 96件 (生活保護法介護扶助) 4件

・ホームヘルプサービス事業

高齢または身体上の障がいのため、日常生活を営むのに支障がある高齢者世帯、または身体障がい者世帯に対してホームヘルパーを派遣し、在宅福祉の向上に努めました。

ホームヘルプサービス利用状況 (年度末現在利用者数)

(単位：人)

利用者数	事業対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	障がい	総合計
介護保険	総合事業	1	10	10						21
	訪問介護			9	5	0	0	4		18
障がい	居宅介護								14	14
	重度訪問介護								0	0
合計	1	10	10	9	5	0	0	4	14	53

・福祉有償運送事業 (移送サービス事業)

家庭において移送が困難な要介護高齢者及び重度身体障がい者に対して、ボランティアのみなさんのご協力を得ながらリフト付自動車を利用して移送サービスを行っており、社協だよりを通じてボランティア募集しましたが、担い手が不足したことから、令和5年度をもって事業を廃止しました。

・福祉 (介護) 機器の貸出・斡旋

介護家族の負担軽減を図るため車イスの貸出を実施するとともに、各種介護用品の斡旋を実施しました。

【車イスの貸出】

月別利用状況

(単位：件)

利用月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
貸出件数	27	32	28	22	26	30	23	32	22	23	34	28	327

【斡旋】

紙オムツ・トレーニングパンツ・肌着（寝巻）・ポータブル便器等介護者のニーズの高い介護用品について、随時斡旋を実施しました。

・羽曳野市介護保険事業者連絡協議会との連携

総会	令和5年6月13日（火） 対面及びZOOMでの開催 令和4年度事業報告及び令和5年度事業計画について提案 地域活動部会発足について提案
総会特別講演	令和5年6月13日（火） テーマ 『地域共生社会に求められる社会福祉法人や介護保険事業所の役割』～助け上手助けられ上手のすすめ～ 講師 ふくしと教育の実践研究所 SOLA（Social Labo 代表） 新崎 国広氏
各部会	居宅部会 7回 在宅部会 6回 施設部会 4回 地域密着部会 6回 小規模多機能部会 4回
法人案内ホームページでの活用	通所早見表の作成及び更新

その他

若年性認知症「オレンジランプ」上演会や、医療と介護の連携研修会、フードパントリーへの協力等

■ 介護者家族の会の育成と援助

介護者家族の会との連携強化を図るため、定例の役員会に担当者が参加するなど関係を密にし、積極的に育成・援助を行っています。

日時	事業内容	場所	参加者
5月16日（火）	役員会	ボランティアセンター	5名
6月29日（水）	総会	羽曳野市役所 別館3階会議室	12人
7月18日（火）	つどい（茶話会）	西部事務所 あいあいハウス	11人
7月18日（火）	役員会	西部事務所 あいあいハウス	2人
9月14日（木）	つどい（茶話会）	ボランティアセンター	9人
9月14日（木）	役員会	ボランティアセンター	5人
11月2日（木）	リフレッシュ事業	京都（北野天満宮 他）	23人
12月4日（月）	つどい（干支押し絵製作）	西部事務所 あいあいハウス	12人
12月6日（水）	役員会	ボランティアセンター	5人
1月17日（水）	役員会	ボランティアセンター	5人
2月21日（水）	役員会	ボランティアセンター	5人
3月27日（水）	視察研修会	堺市総合防災センター	19人

■ 各種募金活動等の推進

・日本赤十字社事業

日本赤十字社では、博愛と奉仕の精神に基づき自然災害・紛争・発展途上国の開発協力等の国際活動や福祉活動をはじめ、災害救護・救急医療体制の整備・献血運動などの国内活動等を行っていますがこの事業を支える活動資金運動に積極的に取り組みました。

【赤十字活動資金実績】

地区名	実績額	地区名	実績額
古市地区	539,610円	西浦地区	888,080円
高鷲地区	877,938円	丹比地区	175,700円
埴生地区	399,730円	羽曳が丘地区	734,250円
駒ヶ谷地区	331,000円	大阪支部扱い	1,473,882円
合 計		5,420,190円	

【事業】：羽曳野市赤十字奉仕団研修 令和5年5月25日（A棟2階中・東会議室）

・共同募金運動事業

共同募金運動を通じて市民の全てが福祉に参加し、社会福祉についての市民の理解と認識を深める「福祉のこころ」を培うとともに、社会福祉事業に必要な財源を確保するため共同募金運動に取り組みました。

【募金会理事会】： 令和5年8月30日（市長会議室）

【街頭募金活動】： 令和5年10月3日 市内主要駅5か所と市内店舗6か所で実施。

【共同募金実績額】

戸別(町会)	法人	学校	街頭	職域	その他	バッジ	実績額
2,489,707円	77,720円	275,920円	140,299円	12,973円	53,223円	492,000円	3,541,842円

(町会別実績額)

地区名	実績額	地区名	実績額
古市地区	423,910円	丹比地区	93,625円
高鷲地区	612,220円	西浦地区	316,400円
埴生地区	330,530円	駒ヶ谷地区	136,700円
羽曳が丘地区	430,350円	事務局扱い	145,972円
合 計		2,489,707円	

【歳末たすけあい運動募金実績額】

(町会別実績額)

地区名	実績額	地区名	実績額
古市地区	405,510円	丹比地区	145,575円
高鷲地区	613,126円	西浦地区	289,550円
埴生地区	420,030円	駒ヶ谷地区	122,800円
羽曳が丘地区	348,250円	事務局扱い	604,507円
合 計			2,949,348円

(民生委員校区别実績額)

校区名	実績額	校区名	実績額
古市校区	475,000円	高鷲南校区	68,000円
古市南校区	90,000円	高鷲校区	163,000円
白鳥校区	254,000円	駒ヶ谷校区	85,000円
埴生南校区	65,560円	高鷲北校区	162,500円
埴生校区	66,500円	丹比校区	284,000円
西浦校区	135,000円	恵我之荘校区	251,500円
西浦東校区	101,000円	主任児童委員	29,000円
羽曳が丘校区	16,000円		
合 計			2,246,060円

※ 配分委員会 令和5年11月24日 (保健センター 4階大会議室)

配分内容

民生児童委員協議会福祉活動費、校区福祉員会推進費、子育てサロン運営費、子ども食堂運営費
児童養護施設お年玉、サンタクロース訪問 (児童養護施設等に会長・副会長参加) 他

・献血推進事業

献血思想の普及並びにその推進を図ることを目的として、献血推進事業に取り組みました。

・献血推進協議会の運営

献血推進協議会委員及び献血推進員と連携を図り事業の活性化に努めました。

献血推進協議会委員及び献血推進員合同会議

令和5年5月25日 (A棟2階 中・東会議室)

・啓発活動

市広報紙、社協だより及びホームページに献血日程を掲載し、献血実績の向上を図りました。

街頭啓発活動を実施し、献血思想の普及・向上を図りました。

羽曳野ライオンズクラブ、羽曳野ロータリークラブと共催開催を実施し多くの協力をいただきました。

愛の血液助け合い運動及び大阪府献血推進月間では、庁内及等において献血キャンペーン用のポケットティッシュ及び絆創膏を配付しました。

【献血実績】

受付人数	採血合計	200ml 採血	400ml 採血
1, 113人	922人	66人	856人

・義援金受付及び被災地支援活動

・義援金の受付

令和5年台風第13号災害義援金	令和6年3月末現在	11,056円
令和6年能登半島地震災害義援金	令和6年3月末現在	4,940,858円
令和5年7月7日からの大雨義援金	令和6年3月末現在	1,494円
令和5年5月能登地方地震災害義援金	令和6年3月末現在	105,406円
令和5年6月30日からの大雨義援金	令和6年3月末現在	291円
令和5年台風第6号災害義援金	令和6年3月末現在	221円
令和5年台風第2号等大雨災害義援金	令和6年3月末現在	103,131円
ウクライナ人道危機救援金	令和6年3月末現在	29,612円
2023年トルコ・シリア地震救援金	令和6年3月末現在	850円
(社協受付分 全額 日本赤十字社大阪府支部に送金)		

■ 職員研修会

・人権研修

新規採用職員及、管理職員を対象にDVD などによる人権研修会及びハラスメント研修会を開催
市及び羽曳野市企業人権連絡会主催の研修会に参加

■ 保育園の運営

あおぞら保育園

月別園児数

(単位：人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
園児数	148	148	147	150	148	149	151	148	151	150	150	149	1,788

※認可定員：120人

保育内容

入園、進級おめでとうの会・家庭訪問・検便(年1回)・検尿検査(年2回)・嘱託医による健康診断(年2回)・歯科検診(年1回)・園外保育(年8回)・親子ふれあいサロン(年2回)・懇談会(年2回)・個人懇談・げんきフェスタ・にっこりガーデン・プール遊び・七夕まつり・すいか割り・サマーフェスタ・YuZu らんど・防災教室・敬老の日の集い・クリーン活動・芋掘り味覚狩り・おもちつき・クリスマスパーティー・お正月あそび・節分・交通安全教室・ハッピーフェスタ・お別れバス遠足・おもいで、ありがとうの会・卒園おめでとうの会・食育ランチルーム・三園交流(古市幼稚園・誉田保育園)・南大阪民間保育園連盟主催(大運動会・サッカー大会)・身体測定、避難訓練、お誕生日会(毎月1回)

延長保育

【朝の延長：7時～7時半】

(単位：人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
園児数	16	17	14	16	12	18	21	15	14	8	6	1	158

【夕方の延長：18時半～19時】

(単位：人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
園児数	12	12	18	18	8	11	13	8	13	7	9	14	143

特別教室の実施

- ・英会話教室(ECC)
- ・ダンス教室

※ 3歳児より導入

子育て支援事業

- ・育児相談(開園中常時)
- ・園庭開放(年11回)
- ・子育て支援自主事業
(年18回 地域の親子と保育士が交流の場を持ち子育て支援を行う)

地域交流

- ・ひだまりスポット(園庭開放) 年11回
- ・にっこりガーデン 6月
- ・サマーフェスタ 7月
- ・すいか割り 7月
- ・防災教室(地域の親子参加) 9月

- ・おもちゃつき会(地域の親子参加) 12月
- ・クリスマス会(地域の親子参加) 12月
- ・お正月遊び(地域の親子参加) 1月
- ・交通安全教室(地域の親子参加) 2月
- ・ひなまつり遊び(地域の親子参加) 3月
- ・園児の祖父農園(芋掘り) 10月
- ・中川さんの農園(芋掘り) 10月
- ・教育実習生受け入れ 6月1人 7月1人 8月1人 9月2人 1月5人 2月2人 計12人
- ・ボランティア受け入れ 7月4人 8月2人 9月1人 12月1人 3月2人 計10人

職員研修

- ・突然死 1人(5/10 オンライン)
- ・遊び講座 3人(5/30) 1人(6/7) 2人(10/25)
- ・乳児保育で大切にしたいこと 1人(5/31)
- ・食中毒の正しい知識と衛生管理 17人(6/1~7/31 オンライン)
- ・赤ちゃんの発達とアタッチメント 1人(6/9)
- ・子どもと楽しむ音楽あそび 1人(6/10)
- ・乳児保育 1人(6/16)
- ・子ども達が夢中になれる時間と空間を 1人(6/17)
- ・児童の園外活動時の見守り 2人(6/19)
- ・事故防止 1人(7/5)
- ・子どもの置き去りを防ぐ 22人(7/7~7/21 オンライン)
- ・保育サミット 3人(7/19 オンライン)
- ・障がいのある子と共に育つ 1人(7/10. 9/13. 10. 30. 11/20)
- ・健康と安全研修会 2人(7/11)
- ・幼児教育半日セミナー 1人(7/19. 8/26. 9/25. 11/18) 1人(7/19. 9/25)
- ・ていねいなまなざしで見る乳児保育 1人(7/20)
- ・スマイルサポーター事例報告 1人(7/25)
- ・こどもまんなか社会の実現をめざして 13人(7月オンライン)
- ・子どもが喜ぶ読み聞かせ 1人(8/2)
- ・大阪しあわせネットワーク 2人(8/3)
- ・地域福祉専門職ネットワーク交流会 1人(8/21)
- ・感染症対策 1人(8/22. 30)
- ・福祉施設の看護師の役割 1人(8/24)
- ・造形活動を通して子どもの心を育てる 1人(8/24)
- ・対話の力・子どもの魅力 1人(8/29)
- ・乳児の発達と遊び、環境 1人(9/4)
- ・食品衛生 1人(9/5)
- ・保育における自己評価 2人(9月オンライン)
- ・子どもの主体性・非認知能力を育てる保育 3人(9/11)
- ・発達のとらえ方 1人(10/14)
- ・BPC 1人(10/27)
- ・リスクマネジメント 1人(10/31)
- ・感染症 3人(11/10~1/10 オンライン)
- ・「子どもをみる眼」を確かにするために 1人(11/6)
- ・キャリアパス(チームリーダー) 1人(11/9. 17. 24)
- ・子ども主体 5人(11/17 オンライン)
- ・乳幼児期の食機能と食事提供の配慮 2人(11/24)
- ・発達障がい者地域支援向上 2人(11/29. 2/7. 2/19)

- ・乳児保育研修会 2人(11/30.12/5)
- ・子どもの脳が喜ぶ「子ども主体の保育」 3人(12/8 オンライン)
- ・虐待等の不適切な保育への対応 15人(1/15～29)
- ・スマイルサポーターフォローアップ 2人(1/29)
- ・キャリアアップ研修(乳児保育) 1人(8月オンライン)
2人(7/19～8/30)
- ・キャリアアップ研修(幼児保育) 1人(7/19.8/24.9/5.11/18)
1人(8月オンライン)
1人(11月オンライン)
- ・キャリアアップ研修(障がい児保育) 1人(9月オンライン)
2人(2/19.27.29)
- ・キャリアアップ研修(食育アレルギー) 1人(8月オンライン)
1人(10月オンライン)
- ・キャリアアップ研修(保健衛生) 1人(10/16.18)
1人(11月オンライン)
1人(1月オンライン)
- ・キャリアアップ研修(子育て支援) 1人(9月オンライン)
3人(10/16～11/21)
- ・キャリアアップ研修(マネジメント)
- ・人権研修 34人(DVD)

ベビーハウス社協

月別園児数

(単位:人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
園児数	129	130	130	130	130	130	127	127	127	127	129	129	1,545

※認可定員:120人

保育内容

入園進級式、個人懇談(年2回)、幼児遠足(春・秋)、フリー参観(年2回)、ECC(3歳児一年15回(10月～)、4・5歳児一年30回)、ダンス(3・4・5歳児一年30回)、四天王寺大学短期大学部保育科交流(3歳児1回・5歳児1回)大運動(5歳児)、七夕、プール活動(3～5歳児)、スペシャルサマーデー(5歳児)、検便・尿検査(年1回)、内科検診(年2回)、歯科検診(年1回)、運動会(3～5歳児)、あおぞら保育園と交流(5歳児2回)、クッキー作り(3～5歳児)、クリスマス会、節分、お別れ遠足(5歳児)、ひなまつり、ゆめっこの会、卒園式

※毎月1回お誕生日会、避難訓練、身体測定

延長保育

【朝の延長:7時～7時半】

(単位:人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
園児数	83	85	105	97	84	96	91	83	80	65	64	67	1,000

【夕方の延長：18時半～19時】

(単位：人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
園児数	13	15	20	16	8	9	20	26	19	21	19	30	216

一時保育

7時～20時

月別園児数

(単位：人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
羽曳野市内の園児数	177	174	154	171	154	180	194	212	189	210	220	206	2,241
他市町村の園児数	0	0	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0	3

子育て支援事業

- ・園庭開放（ベビっこひろば）（年8回）
- ・子育てサロン（年8回）：たかなんサロンへの保育士派遣
- ・育児等相談

地域貢献支援事業

- ・生活困窮者レスキュー（2回）
- ・物資の支援（1回）

地域交流

- ・1年生地域学習（高鷲南中学校） 6名 11/16
- ・教育実習生の受け入れ 計3名
 - 関西女子短期大学 保育科 1名 2年 7/28～8/8
 - 関西女子短期大学部 保育科 1名 2年 1/24～2/3
 - 大阪芸術大学短期大学部 保育学科 1名 1年 2/19～3/1
- ・教育コラボレーション演習
 - 大阪教育大学 教育学部教育協同学科 1名 2年 8/2、31、9/1、12、13
- ・四天王寺短期大学保育部「出前保育実習」の受け入れ 14名（12/5）

職員研修

保育士研修

- ・危機管理危機対応研修 8名(4/17)・7名(4/24)・5名(5/1)・8名(5/8)・4名(5/25)
- ・キャリアアップ研修（幼児保育）(eラーニング・ZOOM) 1名(4/26～・9/16)
- ・キャリアアップ研修（乳児保育）(eラーニング・ZOOM) 1名(4/28～・9/16)
- ・保育に関する専門研修① 1名(5/31)
- ・救急蘇生DVDによる研修（全職員）(6/16・17・22・23・24・26・27、7/4)
- ・感染症・食中毒予防対策講習会（動画視聴型） 3名(6/21)
- ・サービスマナーセミナー中級リーダークラス 1名(6/26・27)

・事故防止研修	1名 (7/5)
・健康と安全研修会	1名 (7/11)
・2023 幼児教育大講習会	2名 (8/1)
・安田式オンライン講座	12名(8/1～31)
・子どもの人権研修「不適切保育を防ぐために」	2名 (8/31)
・保育士を元気にする研修	1名 (9/5)、2名 (11/20)
・子どもの主体性・非認知能力を育てる保育	1名 (9/11)
・障がい児保育研修会	2名 (11/1)
・メンタルヘルス研修	1名 (11/14)
・看護師による救命講習	16名(11/15)
・感染症・食中毒予防対策講習会（動画視聴型）	14名 (11/10～1/10)
・大阪府発達障がい者地域支援力向上事業（研修会）	1名 (11/29・2/7・2/19)
・大阪府発達障がい児支援のための保育士	
・幼稚園教諭研修 基礎講座（オンデマンド形式）	1名 (12/21～1/26)
・保育園職員全体研修	2名 (12/15)
・新任職員研修（南大阪ブロック民間保育園連盟主催）	2名 (3/6)
・新任職員研修会（保育部会）	2名 (3/26)
・キャリアアップ研修（障がい児保育）	1名 (2/19・27・29)
・キャリアアップ研修（障がい児保育）（eラーニング・ZOOM）	1名 (12/18～・1/28)